

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-130910

(43)公開日 平成5年(1993)5月28日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

A 4 5 C 7/00

3/00

識別記号

D

庁内整理番号

C 2119-3B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3(全7頁)

(21)出願番号 特願平3-297073

(22)出願日 平成3年(1991)11月13日

(71)出願人 591253146

シャトーブラン株式会社

東京都港区六本木4丁目2番2号

(72)発明者 グレゴリー・カーリー

東京都目黒区緑が丘1丁目2番8号

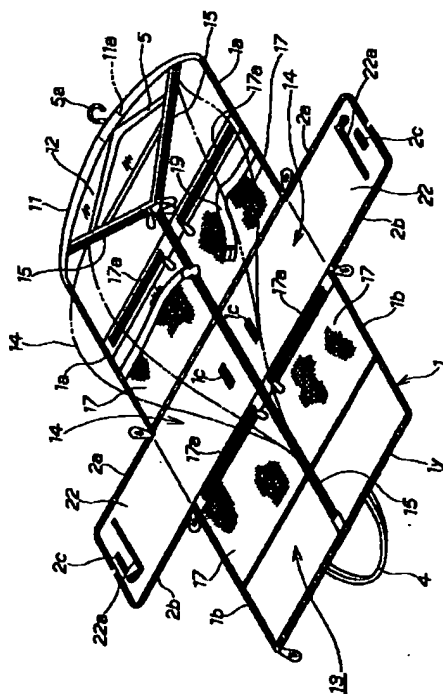
(74)代理人 弁理士 森 正澄

(54)【発明の名称】 バッグ

(57)【要約】

【目的】 スーツキャリアとスポーツバッグを一つのバッグで兼用し、しかも、その形状の変化を、単にジッパーの開閉だけの簡単な操作で行うことの可能なバッグを得ること。

【構成】 バッグ本体部分の上面にジッパー開閉構造を備えたバッグにおいて、前記バッグ本体部分と前後のバッグ壁面部分とが、その底辺を除いた三辺にジッパー開閉構造を備え、さらに、前記バッグ本体部分を二重構造に形成して、その内部にスーツ収納部を設けた。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 バッグ本体部分の上面にジッパー開閉構造を備えたバッグにおいて、前記バッグ本体部分と前後のバッグ壁面部分とが、その底辺を除いた三辺にジッパー開閉構造を備え、さらに、前記バッグ本体部分を二重構造に形成して、その内部にスーツ収納部を設けたことを特徴とするバッグ。

【請求項2】 前記スーツ収納部は、前記バッグ本体部分の内側に覆いシートを装着するとともに、前記覆いシートの中央部分の長手方向にジッパー開閉構造を設けることにより構成され、前記覆いシート内にスーツを出し入れ可能にしたことを特徴とする前記請求項1記載のバッグ。

【請求項3】 前記前後のバッグ壁面部分を前記バッグ本体部分側に折り曲げて係止し、前記バッグ本体部分の上面ジッパーを閉じることによりスーツキャリアが形成されることを特徴とする前記請求項1記載のバッグ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、スーツキャリアを兼用したバッグに関する。

## 【0002】

【従来の技術】一般にバッグは、スポーツバッグ、ハンドバッグ、ショルダーバッグのように、一つのバッグは一つの目的・機能・形態を備えている。例えば、スポーツバッグは、スポーツウエア、シューズ、スポーツ用具等を収納する比較的大きな容積を持つものとして知られており、ハンドバッグは女性、男性のものを問わず、小物を収納する比較的小型のものであり、また、ショルダーバッグは、肩にかけて持ち運びが便利なような形態を一般に備えている。

【0003】他方、スーツキャリアは、スーツを収納して運搬するものとして知られており、そして、最近では、このスーツキャリアをアタッシュケース等の回りに備え付けて、両者を同時に持ち運べるような形態のものも考案されている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかし、今までに一つのスポーツバッグがスーツキャリアに変身したり、逆に、スリムなスーツキャリアが比較的大きなスポーツバッグになるといったように、一つのバッグが大きく変身し複数の機能を有することはなかった。

【0005】そこで、本発明は、スポーツバッグとスーツキャリアを一つのバッグで兼用し、しかも、その形状の変化を、単にジッパーの開閉だけの簡単な操作で行うことの可能なバッグを提案するものである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明は、バッグ本体部分の上面にジッパー開閉構造を備えたバッグにおいて、前記バッグ本体部分と前後

のバッグ壁面部分とが、その底辺を除いた三辺にジッパー開閉構造を備え、さらに、前記バッグ本体部分を二重構造に形成して、その内部にスーツ収納部を設けたバッグであり、そして、前記スーツ収納部は、好ましくは前記バッグ本体部分の内側に覆いシートを装着するとともに、前記覆いシートの中央部分の長手方向にジッパー開閉構造を設けることにより構成し、前記覆いシート内にスーツを出し入れ可能にするるとよい。また、前記前後のバッグ壁面部分を前記バッグ本体部分の内側に折り曲げ、前記バッグ本体部分の上面ジッパーを閉じることにより、スーツキャリアが形成されるものである。この場合、前記前後のバッグ壁面部分を前記バッグ本体部分側に折り曲げた際、バッグ壁面部分を前記バッグ本体部分に係止させるようにするとよい。

## 【0007】

【作用】本発明のバッグにおいて、スポーツバッグ状のバッグ本体部分の上面ジッパーを開くとともに、前記バッグ本体部分と前後のバッグ壁面部分との間の前記三辺のジッパーを開き、前記バッグ本体部分及び前後のバッグ壁面部分を展開して平面状にする。そして、前記バッグ本体部分のスーツ収納部にスーツを入れ、前記前後のバッグ壁面部分を前記バッグ本体部分の内側に折り曲げ、前記バッグ本体部分を二つに折り曲げ、バッグ本体の上面ジッパーを閉じれば、スリムなスーツキャリアが形成される。

【0008】このスーツキャリアの形態から、バッグ本体部分を一旦平面状に展開した後、前記前後のバッグ壁面部分を立上げ、このバッグ壁面部分の輪郭に沿ってバッグ本体部分を筒状に設けるとともに、このバッグ本体部分とバッグ壁面部分との間をジッパーで連結し、バッグ本体部分の両端部をジッパーで連結すれば、スポーツバッグ状のバッグ形態がもたらされる。

## 【0009】

【実施例】本発明のバッグは、図1に示すように、通常は横長立体形状を呈するスポーツバッグAであり、上面にジッパー開閉構造を設けたバッグ本体部分1と、前後のバッグ壁面部分2、2、バッグ本体部分1に固着した一对の提げ手3、4を備え、そして、前記バッグ本体部分1と前後のバッグ壁面部分2、2とが、その底辺を除いた三辺にジッパー開閉構造を設けている。

【0010】図2及び図3において、バッグ本体部分1の前記上面ジッパー開閉構造は、バッグ本体部分1の両端部に設けた一对のジッパー1x、1yによって構成されている。一方のジッパー1xの外側には、円弧状の突出片11を設けている。この突出片11の箇所には、後述する三角状透明シート12が設けてあり、このシート12の内側にハンガー5が装着される。このハンガー5のフック部5aが前記突出片11から外部に出ることができるよう、突出片11の先端には通孔11aを設けている。

【0011】また、前記バッグ本体部分1と前後のバッグ壁面部分2、2とのジッパー開閉構造は、一方のバッグ壁面部分2の基部から先端に向けて設けたジッパー2aとバッグ本体部分1の端縁に設けたジッパー1a、同様に、当該バッグ壁面部分2の基部から先端に向けて設けたジッパー2bとバッグ本体部分1の端縁に設けたジッパー1b、他方のバッグ壁面部分2の基部から先端に向けて設けたジッパー2aとバッグ本体部分1の端縁に設けたジッパー1a、同様に、そのバッグ壁面部分2の基部から先端に向けて設けたジッパー2bとバッグ本体部分1の端縁に設けたジッパー1b、によって構成されている。

【0012】図3において、バッグ本体部分1は二重構造に形成され、その内部にスーツ収納部13を設けている。スーツ収納部13は、前記バッグ本体部分1の内側に、左右に開く覆いシート14、14を装着するとともに、前記覆いシート14の中央部分の長手方向にジッパー開閉構造を設けることにより構成される。尚、前記覆いシート14、14に連なって三角状透明シート12を設けてあり、このシート12と覆いシート14、14は

ジッパー15、15（ジッパーは左右一対で構成されているが、ここでは各ジッパーにつき各一つの符号を付している。）で開閉可能に設けられている。すなわち、各ジッパー15、15を開けることにより、覆いシート14、14及び透明シート12を両側に開くことができ、この開いた状態下のスーツ収納部13内に、ハンガー5に装着したスーツを出し入れ可能としている。

【0013】前記バッグ壁面部分2、2は、バッグ本体部分1の内側に折り曲げ可能に設けられている。そして、バッグ壁面部分2、2を折り曲げると、当該各バッグ壁面部分がバッグ本体部分に係着することができるよう、両者の対応する箇所にベルベットファスナー1c、2cを取付けている。

【0014】また、図2において、一方の提げ手3に対応する箇所のバッグ本体部分1の外面に、他方の提げ手4とともに前記提げ手3に係止する帯状係止具7が取付けられており、この係止具7は、ベルベットファスナー7aによってバッグ本体部分1に係着する。

【0015】図2及び図3において、バッグ本体部分1及びバッグ壁面部分2、2の内外面には、ポケット部16、17、21、22が設けられている。ポケット部16、17、22は、ジッパー16a、17a、22aによって開閉可能になされており、そのうち、バッグ本体部分1の内側のポケット部17は、メッシュポケットで形成され、内部収容物を外側から把握することができるようになされている。

【0016】バッグ本体部分1の外面のポケット部16の両脇、この例ではジッパー16aの端部の近傍に、肩かけ（ショルダーストラップ）8の両端に係止するリング18、18を取付けている。また、同様に、バッグ壁

面部分2、2の外面のポケット部21の入口部分の中央には、肩かけ8の両端に係止するリング23、23を取付けている。

【0017】尚、図3において、スーツ収納部13の外側には、型くずれ防止用のベルト19を設けている。図示を省略したが、スーツ収納部13の内部にも型くずれ防止用のベルトを設け、また、スーツ収納部13の内部であってメッシュポケット17、17間の箇所に、バッグの底板部材を配置している。

10 【0018】次ぎに、図1に示すスポーツバッグ状のバッグAからスーツキャリアBへ形態をかえる場合について説明する。スポーツバッグ状のバッグ本体部分1の上面ジッパー1x、1yを開くとともに、前記バッグ本体部分1と前後のバッグ壁面部分2、2との間の前記三辺のジッパー1a、2a間と1b、2b間を開き、前記バッグ本体部分及び前後のバッグ壁面部分を展開して、図2及び図3に示すような平面状にする。

20 【0019】そして、前記バッグ本体部分1のジッパー15、15を開いて、覆いシート14、14を左右に開くとともに三角状透明シート12を開け、ハンガー5に掛けたスーツをスーツ収納部13に入れる。ジッパー15、15を閉じた後、この状態から前記前後のバッグ壁面部分2、2を前記バッグ本体部分の内側に折り曲げ、両者をベルベットファスナー1c、2cに係着する。次いで、前記バッグ本体部分1の片半分（円弧状の突出片11のある方）を二つに折り曲げて、図4に示す状態にする。

30 【0020】さらに、バッグ本体部分1のもう片方の半部分を、その端部が突出片11の上に位置するように、折り曲げ、ジッパー1x、1yに係合させて閉じ、一方の提げ手3の上に他方の提げ手4を重ね、その提げ手4に係止具7で固定すれば、図5に示すようなスリムなスーツキャリアBが形成される。このスーツキャリアBは、前記肩かけ8の両端をリング18、18に係止して用いることとなる。

【0021】尚、図6は、前記スーツキャリアBの反対側の面、すなわちバッグ本体部分1の外側面を表わしたものである。この面を表側に用いると見栄えがよい。

40 【0022】このスーツキャリアの形態から、バッグ本体部分1を一旦平面状に展開した後、前記前後のバッグ壁面部分2、2を立上げ（図7参照）、このバッグ壁面部分の輪郭に沿ってバッグ本体部分を筒状に設けるとともに、このバッグ本体部分とバッグ壁面部分との間をジッパー1a、2aと1b、2bで連結し、バッグ本体部分1の両端部をジッパー1x、1yで連結すれば、スポーツバッグ状のバッグA形態がもたらされる。

50 【0023】このバッグAにおいて、上面ジッパー1x、1yを開くとともに、ジッパー1a、2a及び1b、2bを若干開けば、バッグAの上部からバッグ内へ

5

収容物を出し入れすることができ(図8参照)、また、バッグAの上面ジッパー1x、1yを開くことなく、ジッパー1a、2a及び1b、2bを開ければ、バッグAの前後部からバッグ内へ収容物を出し入れすることができる(図9参照)。

【0024】尚、上記実施例は、上記態様に限られず、本発明の趣旨を逸脱しない限り、適宜の変更を加えることができるものである。

【0025】

【発明の効果】本発明は、以上説明したように構成されるので、形態的に大きく異なるスポーツバッグとスーツキャリアを一つのバッグで兼用することができ、しかも、その形状の変化を、単にジッパーの開閉だけの簡単な操作で行うことができる。

【0026】このように、本発明に係るバッグは複数の機能を有しており、従来別々に用いられていたスポーツバッグとスーツキャリアを、一つのバッグでそれぞれ別個に実現できるので、実用上、極めて便利である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のバッグをスポーツバッグとして用いた状態を示す外観図。

【図2】本発明のバッグを展開して示す外面側の外観図。

【図3】本発明のバッグを展開して示す内面側の外観図。

図。

【図4】本発明のバッグを一部折り曲げ他を展開して示す内面側の外観図。

【図5】本発明のバッグをスーツキャリアとして用いた状態を示す外観図。

【図6】本発明のバッグをスーツキャリアとして用いた状態を示す図5とは反対側の外観図。

【図7】本発明のバッグを展開状態からスポーツバッグへ組立てる途中の外観図。

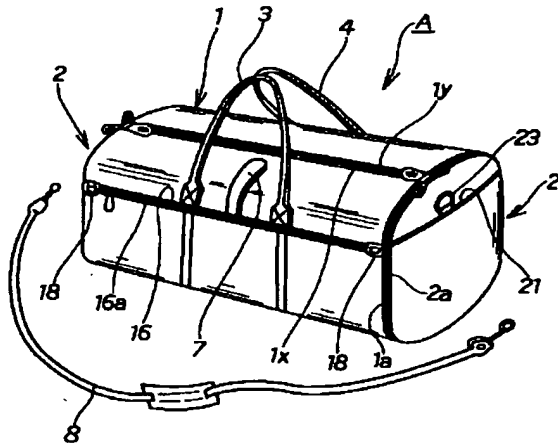
【図8】本発明のバッグをスポーツバッグとして用いた状態を示す外観図。

【図9】本発明のバッグをスポーツバッグとして用いた状態を示す外観図。

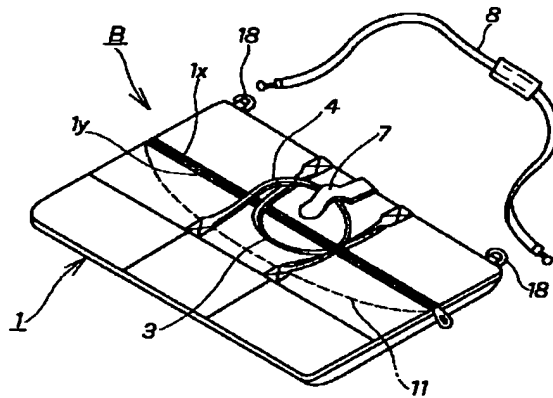
【符号の説明】

- |    |         |
|----|---------|
| A  | スポーツバッグ |
| B  | スーツキャリア |
| 1  | バッグ本体部分 |
| 1a | ジッパー    |
| 1b | ジッパー    |
| 2  | バッグ壁面部分 |
| 2a | ジッパー    |
| 2b | ジッパー    |
| 13 | スーツ収納部  |
| 14 | 覆いシート   |

【図1】

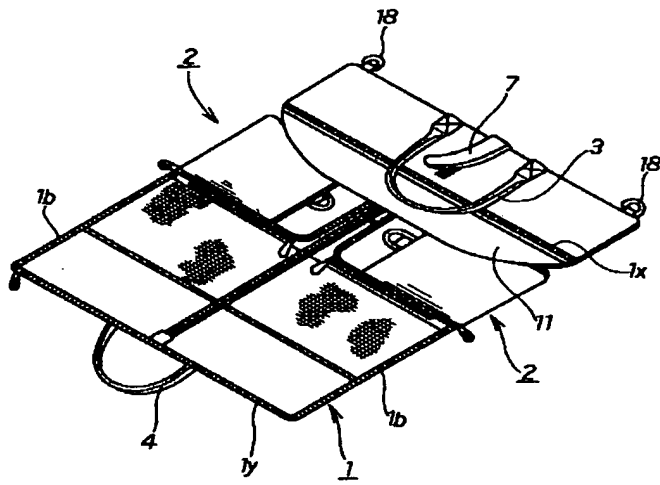


【図5】

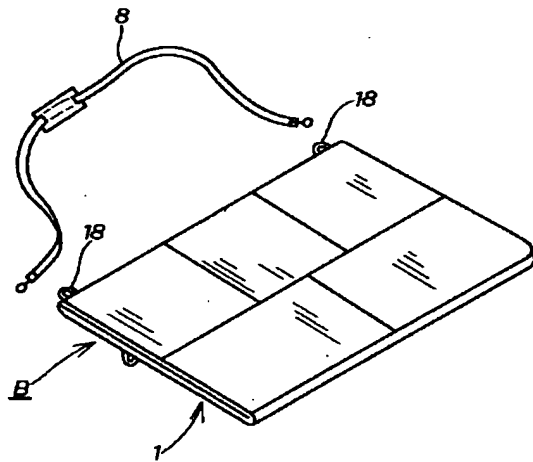




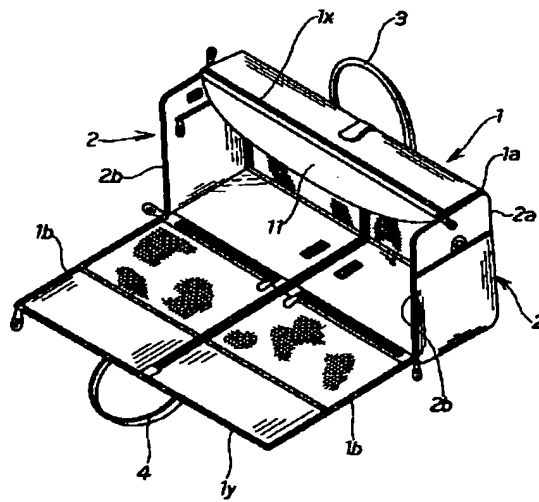
【図4】



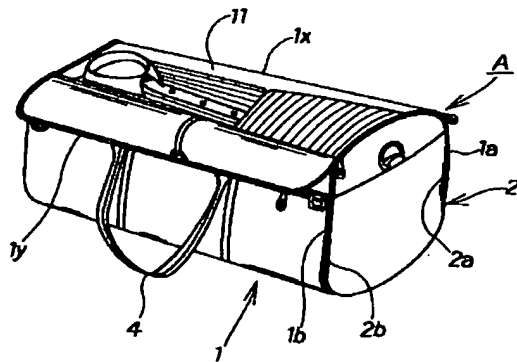
【図6】



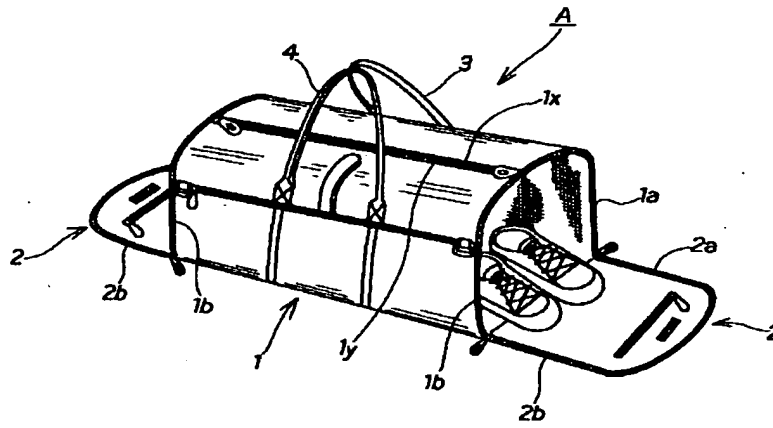
【図7】



【図8】



【図9】



PAT-NO: JP405130910A  
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05130910 A  
TITLE: BAG

PUBN-DATE: May 28, 1993

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
GUREGORII, KAARII	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SHIYATOO BURAN KK N/A	

APPL-NO: JP03297073

APPL-DATE: November 13, 1991

INT-CL (IPC): A45C007/00 , A45C003/00

US-CL-CURRENT: 206/287.1 , 383/4 , 383/41

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a combination sporting bag and suit carrier by providing zippers at three sides of a main body part and front and back wall parts except for a bottom side, and doubling the main body part.

CONSTITUTION: This bag is formed in flat shape by opening upper plane zippers 1x, 1y of a sporting bag type main body part 1 and also, opening and expanding the zippers 1a, 2a, 1b, and 2b at the three sides between the main body part 1 and the front and back wall parts 2. The suit carrier can be formed by inputting the suit to a suit housing part 13, bending the front and back wall parts 2 to the inside of the main body part, bending the main body part 1 in duplication, and closing the upper plane zipper of a main body. Meanwhile, after the main body part 1 is expanded once in flat shape from such state, the front and back wall parts 2 are erected, and the main body part is provided in cylindrical shape along the contour of erection. Furthermore, the sporting bag can be formed by linking a part between the main body part and the wall parts with the zippers 1a, 2a, 1b, and 2b, and linking the both end parts of the main body part 1 with the zippers 1x, 1y.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&Japio